

Ⅱ－３ 点検の視点ごとの分類

- ・ 事務事業を点検・精査し、再構築していくにあたり、下表のような視点を設定し、ア～キの分類を行いました。

短期的に収束する事業	件数	事業費(千円)
ア 平成 21 年度をもって廃止・収束する予定の事業	104	4,562,574
イ 平成 22 年度もしくは平成 23 年度をもって廃止・収束する予定の事業	147	23,176,566
再構築にあたっての視点	件数	事業費(千円)
ウ 市民ニーズ、社会的使命の視点		
ウー１ 社会経済情勢の変化等に照らしてニーズとの整合性の再検証が必要なもの	16	14,745,106
ウー２ 長期継続事業としての再検証が必要なもの	30	498,661
ウー３ 効果の及ぶ範囲が限定されている施策としての再検証が必要なもの	3	371,670
ウー４ サービス水準について検討が必要なもの	39	19,882,466
ウー５ 行政の関わり方の再検証が必要なもの	125	13,130,866
ウー６ その他(施策の選択と集中に向けた検討を要するもの など)	243	129,232,838
エ コストの適正化の観点		
エー１ 費用対効果の妥当性について検討が必要なもの	4	3,154,608
エー２ 効果的、効率的な運営手法の検討が必要なもの	420	134,175,799
エー３ 事業が重複していると考えられるもの	14	671,211
エー４ その他(今後の事業のあり方を検討する必要があるもの など)	27	2,969,465
オ 歳入の確保を図るもの		
オー１ 未収金対策を講じる必要があるもの	6	501,418,254
オー２ 未利用地等資産の売却・貸付を進める必要があるもの	5	1,408,914
オー３ 受益と負担の適正化について検討する必要があるもの	27	9,111,051
オー４ その他(空き駐車場の活用について早急に対応する必要がある など)	5	8,090,198
カ 事業仕分けでの指摘や意見を受けて、見直しを検討すべきもの	66	17,778,591
キ 引き続き改善しながら実施するもの	1,893	929,980,739
合 計	3,174	1,814,359,577

- ・ この事務事業総点検の視点において、「検討」や「再検証」が必要とされていることをもって、その事業がただちに不要であると判断しているものではありません。本市の各事業の今日的意義について、あらためて問題提起を行っているものです。